たいじな水　水道週間イベント

■水道週間中、市内でさまざまなイベントを開催

６月１日から６月７日まで、さまざまなイベントが開催された「第５６回水道週間」。期間中には、多くの人に参加いただき、普段何気なく使っている水道について理解を深めたり、水の大切さを再認識していただきました。

◆「登米中学校の２年生徒による記念植樹」◆

水道についての関心と理解を 深めてもらうとともに、登米市の豊かな水資源を、次世代に引き継ぐため、登米中学校２年生による植樹作業が６月３日（月）、登米町日根牛字上羽沢地内で登米森林組合の協力をいただき、実施しました。

当日は晴天の下、登米森林組合員から植樹作業の注意点などの説明を受けた後、みんなで心を込めてミズナラやブナなど広葉樹２００本を植樹しました。

参加した子供たちは「植樹ってすごく大変」「大きくなるのが楽しみ」などと思い思いに感想を述べ、実際の体験を通じて水や森林の大切さについて関心を深めました。

森林組合の指導員から、植樹の方法や注意点などについて説明をうけました。

みんなで協力し合い、植樹作業を行いました。

急な斜面での作業のため、足元に注意しながらの作業となりました。

植樹終了後、標柱を囲んで記念写真。

◆「園児によるヤマメの稚魚放流」◆

川に親しみを持つともに、環境保全活動や環境教育の取り組みの一環として、６月４日（火）北上川右岸の水辺プラザ船着場で北上川漁業協同組合・とよま北上川かっぱの会の協力をいただき、北上保育園の年長組と 4 歳児の合計 32 人の園児がヤマメの稚魚を放流しました。

園児たちは、「元気でね、大きくなってね」と声をかけながら、やさしく稚魚を放流しました。

水道事業所のおじさんと、元気いっぱいにごあいさつ。

放流するお魚「ヤマメ」について説明をうけました。

あいさつや説明などお話しをちゃんと聞きました。

みんな仲よく並び、稚魚をやさしく放流しました。

放流された稚魚は、群れになって元気に泳いでいきました。

水道事業所からお礼の記念品を受けとると、元気にお礼のごあいさつ。

◆「北上川クリーン作戦」◆

登米市の水道の主な水源となっている北上川。その堤防を美化し安全を守るため、取水口周辺の堤防をきれいにする「北上川クリーン作戦」が6月6日（木）に実施しました。

当日は天候にも恵まれ、関係者をはじめ登米市管工事業協同組合の皆さんやとよま北上川かっぱの会、ボランティアなど協力をいただき、約 50 名が参加し、午後３時から４時までの約 1 時間、堤防上を清掃作業に汗を流しました。

作業では、大きなごみ袋を手に堤防や河川内に落ちているビニール類やペットボトル、空き缶、空き瓶などを拾いました。終了後には流木などを含めたくさんのゴミが回収されました。

ご協力いただいた皆さん、大変ありがとうございました。

今年も管工事事業組合や関係各社など、大勢の皆さんがクリーン作戦に参加。

河川敷にはたくさんのゴミがおちていて、その大半は家庭からでる生活ゴミでした。

とよま北上川かっぱの会の協力をいただき、浄水場に水を汲みあげている取水口の流木を撤去しました。

皆さんの協力によって回収されたゴミは、軽トラックで２台分にもなりました。